

令和8年3月吉日
豊洲めぐみこども園

とつきょうすくわくプログラム活動報告書(幼児)

テーマ:音

日常生活や遊びの中で、子どもたちが様々な音に気付き、「この音はなんだろう」「どうしてこんな音がするのだろう」と興味を示す姿が見られました。

そこで、身近な「音」に着目し、実際に音を聞いたり、鳴らしたりする体験を通して、音の違いや面白さに気づき、発見を広げながら主体的に遊びを深めていくことをねらいとして本テーマを設定しました。

活動内容

1. グループに分かれ、木琴・和太鼓・小太鼓・舞太鼓などの楽器に実際に触れ、叩いて音を鳴らしながらそれぞれの音の違いを聞き、音に親しみました。



2. 聞こえた音から感じたイメージを、様々な形の画用紙やカラフルな絵の具を用いて一人ひとりが自由に表現しました。



3. 表現したものをグループごとに持ち帰り、感じたことを伝え合いながら一つの「楽譜」としてまとめました。



4. 最後に全体で集まり、プロジェクターを使用して、各グループの楽譜を見せ合いました。また、発表したい子が前に出て、どのような音に聞こえたのかや、表現したことなどを伝えて共有しました。

振り返り

楽器に実際に触れると「大きい音がする!」「こっちは優しい音だね」など音の違いに気が付く声が多く聞かれました。叩き方を変えて音を確認、友達と「こうするといい音がするよ」と伝え合う姿も見られました。

聞こえた音を色や形で表現する活動では、「ドンドンって感じだから赤にした」「キラキラした音だから丸にする」など、自分なりのイメージを形や色で表そうとする姿が見られました。同じ音を聞いても表現の仕方が異なることから、子どもたちそれぞれの感じ方や発想の豊かさを感じることができました。

さらにグループで楽譜を作る際には、友達の表現を見ながら「ここで並べてみよう」「順番にすると音みたいになるね」と話し合い、協力して取り組むことができました。発表の場面では、自分が感じた音について自分の言葉で伝えようとする姿が見られ、また友達の発表にも興味を持って耳を傾けていました。

今回の活動を通して、実際に体験することや自分なりに表現することが子どもたちの気づきや探求心を広げることにつながると感じました。